

< 農業生産条件の強化（自己施工）に取り組む事例 >

集団で鳥獣被害防止

1．集落協定の概要

市町村・協定名	やないし かみばさら 山口県柳井市・上馬皿			
協定面積 19.3ha	田（97％）	畑（3％）	草地	採草放牧地
	水稻	交付対象外		
交付金額 176万円	個人配分			50％
	共同取組活動 （50％）	役員手当		3％
		多面的機能増進経費		35％
		農道水路等維持管理経費		9％
有害鳥獣対策経費		2％		
	事務費等		1％	
協定参加者	農業者 31人、（有）瀬戸内農産（構成員3人）			開始：平成12年度

2．取組に至る経緯

上馬皿集落は、市街地から山間部に向けて約 3km に位置している。農地は先祖からの財産としてこれまで守られてきたが、近年イノシシによる農作物への被害が年々増加している。その防止対策と地域農地の荒廃防止のため、平成 12 年度の第 1 期対策から集落協定を締結し、取り組みを継続している。

3．取組の内容

全国的に問題となっているイノシシによる農作物の被害は、当地域も同様である。被害も年々増加する中、平成 23 年度に国の鳥獣被害防止総合対策交付金及び中山間地域等直接支払制度の共同取組活動分（50％）を活用して、電気柵の設置（受益 9.5ha）をするとともに、集落内の狩猟免許取得者と連携し、集落全体で捕獲と防護双方の対策に取り組む、効果が表れてきている。

また、多面的機能を増進する活動として、協定参加者で堆きゅう肥の施肥を毎年実施し地力の増進に努めている。

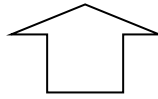


【電気柵設置作業者】

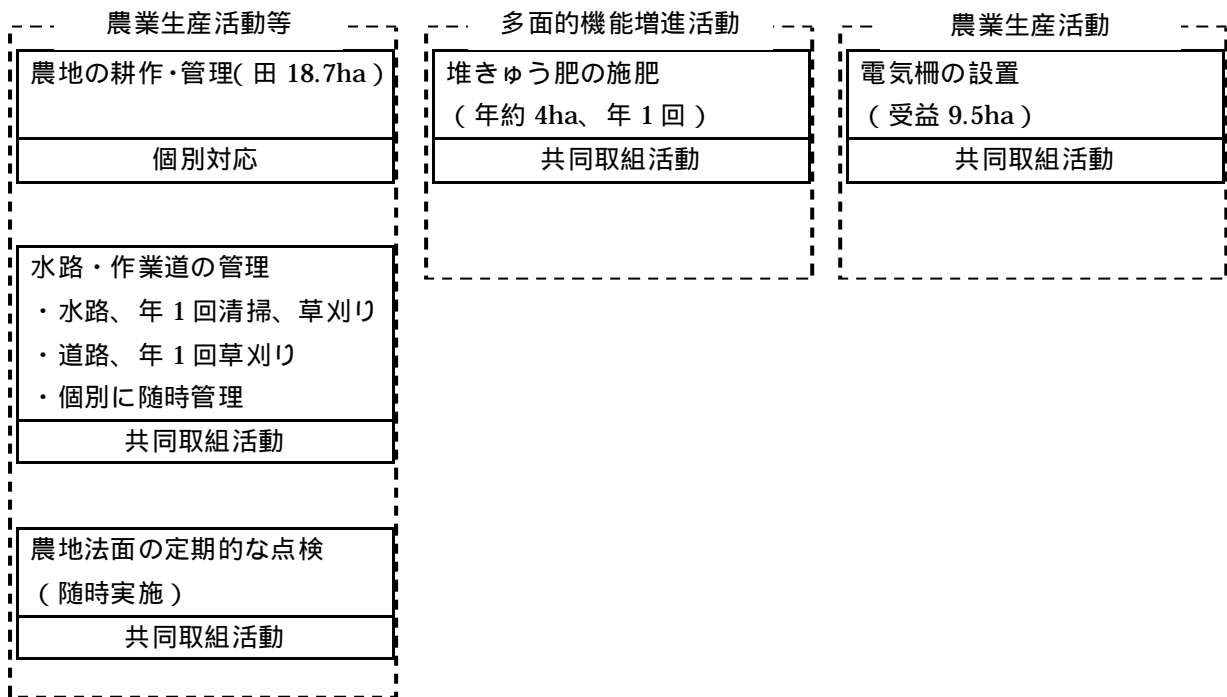


【電気柵設置】

[集落の将来像]
集積対象者を核とした農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]
多様な担い手の確保
認定農業者を核とする補助・連携できる農業生産体制を検討



4 . 今後の課題等

- ・ 認定農業者を核とした農業生産体制の強化
- ・ 後継者の育成

[第 2 期対策の主な成果]
地力の増進、化学肥料の低減に向けた堆きゅう肥の施肥
協定参加者の連携による耕作放棄地の発生防止
主要水路、農道の維持管理
景観の保全